

諸人のここに学びて一校長室から見える風景―(18)

学校を語るもの、学びを語るもの

玄関のそばの前庭の植栽を校務員さんが剪定してくれました。猛暑の夏に伸びた枝や葉を落とすとずいぶんすっきりとしました。正門から玄関までの長い緩やかな坂(プロムナードと言われた方がありました)には左右にさまざまな樹木が植えられています。今回、校務員さんが剪定してくれたのは校舎に近い前庭です。ここは本校の伝統や学びを感じる場所でもあります。

玄関の横には教育綱領の碑があります。本校の教育綱領は「真理 正義 敬愛 自律 実践」です。現在のスクールミッションのベースともなっています。毎朝、玄関から校舎に入るときはこの教育綱領が目に入ります。そうすると何か気持ちを引き締まってきます。それぞれの学校には、このような教育綱領や校訓などがありますが、そこにその学校が大切にしているもの、またどのような生徒を育てるのか、どのような学校を目指すのかが凝縮されているものです。また、地域をはじめとする多くの方の思いもあったでしょう。改めて、本校の教育綱領には私たちに大切なことを伝えていてと感じます。以前在職していたときは「自律」という言葉に特に共感していましたが、今は「敬愛」も大切に感じています。「敬愛」、日々のさまざまな方との関わりに常に気にとめておきたいことです。時々、自分のありようを考えると、この教育綱領の言葉はそれぞれに何かを伝えてくれるものではないでしょうか。

特別教室棟側の前庭には、「ニュートンのリンゴの木」が植えられています。本校は平成18年度にスーパーサイエンスハイスクール事業に指定されました。以来、本校の卒業生でもある東京大学名誉教授の尾嶋正治先生にご指導いただけてきました。そのご縁で、ニュートンが万有引力の法則を発見した「リンゴの木」に由来する苗木を寄贈いただいたものです。4月から半年、少しずつ大きくなっているような気がしています。そしてその近くには同じく尾嶋先生に寄贈いただいた「楷(かい)の木」もあります。「ニュートンのリンゴの木」とともに豊高の学びの象徴です。「楷の木」は中国の儒学の祖、孔子にゆかりがあり「学問の木」とされているそうです。また、端正な枝ぶりの立ち姿から「楷書」の語源となっているとか。「学問」の歴史と奥深さを実感し、尾嶋先生の後輩への思いを感じるところです。生徒のみなさんにはこの先の長い将来にわたり、「学ぶこと」の面白さや楽しさを感じてもらいたいですね。目には見えないけれどきっと人生を豊かにしてくれる財産になるはずです。

